

プレスリリース [2021年6月22日]

(計5枚)

**町田市経営会議（4月26日、27日開催）の概要について**

町田市では、市民から信頼される行政運営及び市民すべてが希望の持てる都市の実現を目指し、市の経営方針の決定と的確な政策判断を行うために町田市経営会議を設置しています。

会議の概要は、町田市ホームページでも公表しています。

※ 詳細は別添のとおり

**■4月26日の経営会議の議題**

①「(仮称)都市づくりのマスタープラン」の策定及び「町田市住みよい街づくり条例」の改正について(都市づくり部)

**■4月27日の経営会議の議題**

②(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040の策定について(政策経営部)

**■本件に関するお問い合わせ先**

## ◎議題の内容に関すること

①都市づくり部都市政策課 課長 窪田 Tel 042-724-4247

②政策経営部企画政策課 課長 唐澤 Tel 042-724-2103

政策経営部経営改革室 課長 菊地 Tel 042-724-2503

## ◎経営会議に関すること

政策経営部経営改革室 課長 菊地 Tel 042-724-2503

## 2021年4月26日の経営会議の概要

開催日時	2021年4月26日（月） 午前10時10分 ～ 午前11時00分
開催場所	政策会議室
付議目的	将来都市像及び施策体系の承認、条例改正の承認について
所管部課	都市づくり部 都市政策課・交通事業推進課・地区街づくり課・住宅課・公園緑地課
案件名称	「（仮称）都市づくりのマスタープラン」の策定及び「町田市住みよい街づくり条例」の改正について
実施期間	2022年4月 ～ 2040年3月
法令根拠	・都市計画法第18条の2 ・都市公園法第4条 ・空家等対策の推進に関する特別措置法第6条
対象者 （お客様）	市民、来街者、まちづくり事業者、関係自治体など
案件概要	<p>町田市では、「都市計画マスタープラン」、「交通マスタープラン」、「緑の基本計画」、「住宅マスタープラン」とその他これらから派生する計画・方針を策定し、計画的に都市づくりを推進してきました。</p> <p>今後20年先の、アフターコロナや人口減少社会の到来を見据え、また、多摩都市モノレールを中心とした大規模交通を町田市として迎えるにあたり、分野横断的に新たな将来都市像・都市構造を設計し、共通した施策を展開していく必要があります。そして、新たな町田市の基本構想・基本計画である「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」と連動した都市づくりを進めるため、各マスタープランを統合し、計画期間を2022年度から2040年度とする「（仮称）都市づくりのマスタープラン」（以下「マスタープラン」という）を策定します。</p> <p>マスタープランは、ビジョン編、方針編、コンテンツ編の3編で構成します。</p> <p>ビジョン編では、2040年の市内の多様な暮らし方やまちのあり方を「暮らしとまちのビジョン」として大きな1枚の絵に描き、都市づくりに関わるプレイヤー（市民、事業者、行政など）の行動指針として「都市づくりのポリシー」、都市の設計図として「まちの“かたち”と“つくり”」を設定します。</p> <p>方針編では、ビジョン編を受け、都市計画・交通・みどり・住宅の各分野の施策を体系化するとともに、実行計画である「（仮称）町田市5ヶ年計画22-26」と連動した実施方針を示します。また、モノレール沿線の町田駅周辺、木曾山崎団地、忠生・北部の3つのエリアにおいて、ビジョン実現のために必要な市の都市づくりを牽引する分野横断的なプロジェクトを掲げます。</p> <p>コンテンツ編では、これまでの都市計画マスタープランの地域別構想編を抜本的に見直し、市域を区分して都市づくりの方向性を示すのではなく、条例により策定される市民によるまちビジョンや、方針編に基づく拠点整備計画等を都市づくりのコンテンツを示しています。</p> <p>併せて、都市計画マスタープランで示す都市づくりを実現するため、地区の特性を活かした個性ある街づくりを目的に施行した「町田市住みよい街づくり条例」（以下「条例」という）は、「まちだ〇ごと大作戦」の取組による市民のまち</p>

	<p>づくり活動の機運向上を踏まえて、新たなマスタープランで示す暮らし方やまちの中での多様な活動を、地区の単位で現実化していくための仕組みへと改正していきます。</p> <p>マスタープランの策定および条例の改正により、新たな町田市の基本構想・基本計画と連動した新しい働き方や多様なライフスタイルに対応し、町田ならではの活動の場や暮らしを楽しめる環境が整った、「ちょうどいい」まちを実現します。</p>
<p>主な意見</p>	<p>○これまでの都市計画マスタープランとの違いを明確にすること。</p> <p>○「条例」の改正による市民の利点をわかりやすく整理すること。</p> <p>○その他、文言を整理すること。</p>
<p>審議結果</p>	<p>提案内容を承認する。上記意見に留意したうえで進めること。</p>
<p>出席者</p>	<p>&lt;委員・幹事&gt;</p> <p>石阪市長、高橋副市長、赤塚副市長、教育長、政策経営部長、経営改革室長、広報担当部長、総務部長、財務部長、企画政策課長兼企画政策課未来づくり担当課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長</p> <p>&lt;説明者&gt;</p> <p>都市づくり部長兼多摩都市モノレール推進担当部長、都市整備担当部長、都市政策課長、都市政策課多摩都市モノレール推進室長、交通事業推進課長、地区まちづくり課長、住宅課長、公園緑地課長</p>

## 2021年4月27日の経営会議の概要

開催日時	2021年4月27日（火） 午後1時00分 ～ 午後1時50分
開催場所	政策会議室
付議目的	まちだ未来づくりビジョン2040（案）の承認
所管部課	政策経営部企画政策課、経営改革室
案件名称	（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040の策定について
実施期間	2022年4月 ～ 2040年3月
法令根拠	無し
対象者	市民をはじめ、町田市に関わる全ての方
案件概要	<p>次期基本構想・基本計画である「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」については、2019年5月14日の経営会議において、策定方針の承認をいただきました。また、2020年5月26日の経営会議において、基本構想部分である「（仮称）2040なりたい未来」の承認をいただきました。さらに、2020年12月1日の経営会議において、基本計画部分である「（仮称）まちづくり基本目標・（仮称）経営基本方針」の承認をいただいています。</p> <p>「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」の策定においては、地区別意見交換会や各種ワークショップ、オンラインによるタウンミーティング、事業者等へのインタビュー、市議会からの決議などを踏まえ、庁内の検討会や長期計画審議会で審議を重ねてきました。</p> <p>加えて、2020年12月15日から2021年1月15日の期間でパブリックコメントを実施し、多くの市民の方々から幅広く意見を伺った結果を反映しています。</p> <p>この度、町田市長期計画審議会からの答申を受け、これを「まちだ未来づくりビジョン2040」の案として取りまとめました。</p> <p>今後は、本計画の主旨や内容のより一層の周知に努め、なりたい未来の姿の実現を市民と一緒に進めていくとともに、各施策を実施する際には、市民をはじめとした多様な主体との連携を積極的に行い、みんなが活躍できる地域社会の実現を目指していきます。</p> <p>また、今後、これまで以上に財源確保が困難になることが見込まれる中、町田市が持続可能なまちでいられるよう、施策の緊急度や優先度の見極めを適宜行い、より効率的・効果的な行政経営を行います。</p> <p><b>【基本構想部分の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2040なりたい未来 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年の町田市のイメージ（キャッチコピー）</li> <li>・なりたいまちの姿とまちづくりの方向</li> <li>・行政経営の姿と方向</li> <li>・将来人口</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【基本計画部分の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり基本目標</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策1：赤ちゃんに選ばれるまちになる</li> <li>・政策2：未来を生きる力を育み合うまちになる</li> <li>・政策3：自分らしい場所・時間を持てるまちになる</li> <li>・政策4：いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる</li> <li>・政策5：人生の豊かさを実感できるまちになる</li> <li>・政策6：つながりを力にするまちになる</li> <li>・政策7：ありのまま自分を表現できるまちになる</li> <li>・政策8：思わず出歩きたくなるまちになる</li> <li>・政策9：みんなが安心できる強いまちになる</li> </ul> <p>○経営基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針1：共創で、新たな価値を創造する</li> <li>・基本方針2：対話を通して、市役所能力を高める</li> <li>・基本方針3：次世代につなぐ財政基盤を確立する</li> </ul> <p>○「2040なりたい未来」を実現するための横断的なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ1：人口減少・少子化対策</li> <li>・テーマ2：減災・防災</li> <li>・テーマ3：デジタル化による行政サービス改革</li> </ul>
<p>主な意見</p>	<p>○本ビジョンの策定における市民の参画状況を整理しておくこと。</p> <p>○市民に分かりやすい指標となるよう、表現を工夫すること。</p> <p>○その他、文言や冊子の構成を整理すること。</p>
<p>審議結果</p>	<p>提案内容を承認する。上記意見に留意したうえで進めること。</p>
<p>出席者</p>	<p>&lt;委員・幹事&gt;</p> <p>石阪市長、高橋副市長、赤塚副市長、教育長、広報担当部長、総務部長、財務部長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長</p> <p>&lt;説明者&gt;</p> <p>政策経営部長、経営改革室長、企画政策課長兼企画政策課未来づくり担当課長、企画政策課担当課長、経営改革室課長</p>